

緊急事態対応規定

栃木県高体連弓道専門部

令和4年4月14日制定

大会が、天候（台風・雷雨・降雪・暑熱等）・地震・交通機関不通（事故・遅延・運行停止等）・伝染病などにより通常通り実施できない場合の処置について、以下のような対応をする。

1 大会実施前に判断を下す場合

（1）競技内容を縮小して実施する。

ア 受付時間を変更して実施する。

イ 各校の参加チーム数を減らして実施する。

ウ 射数を減らして実施する。

エ 予選通過的中を上げて実施する。

オ 個人戦を実施しない、決勝進出チームを減らすなど、競技方法を変更して実施する。

（2）実施日を変更して実施する。

（3）（1）・（2）が実施困難な場合、大会を中止する。

2 大会実施中に判断を下す場合

（1）可能な限り別日程を設けて実施する。

ア 予選時に中止が決定した場合

それまでの記録は破棄される

イ 予選が終了し、決勝のみ未実施の場合

決勝進出チーム・進出者のみ後日実施する。決勝途中の記録は破棄される。（個人も同様）

（2）別日程の確保が困難な場合

1（3）と同様の扱いとする。2（1）イの場合、予選の記録は残す。

3 県予選が中止となり、上位大会への出場校を推薦する場合

（1）団体競技の推薦について

ア 直近5大会（県総体、全国高校総体予選、全国選抜予選、県新人、県選手権）団体競技予選の各校最高の中チームの的中合計上位校から推薦する。

イ アの5大会のうち、中止になった大会があった場合には、その大会は除く。（1大会が中止となった場合には、直近4大会の的中をもとに推薦校を決定する。）

ウ アの的中が同中の場合、直近の大会の成績が上位の高校を優先し推薦する。

（2）個人競技の推薦について

ア 全国高校総体、全国選抜大会については、直近の大会の上位入賞者から推薦する。

イ 関東個人選手権については、直近の大会の上位入賞者および的中上位者から推薦する。推薦できる人数のラインで同中者がいる場合には抽選で推薦者を決定する。

4 その他の事態が生じた場合、専門委員会で協議して決定する。

※豪雨・雷雨時など進行を一時中断し、選手監督を退避させ、状況を見て続行判断する場合もある。

※大会前日までに判断する場合には、FAX、メール、ホームページ等で各校に通知する。